

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 6 月 25 日 (2009.6.25)

【公開番号】特開 2008-92579 (P2008-92579A)

【公開日】平成 20 年 4 月 17 日 (2008.4.17)

【年通号数】公開・登録公報 2008-015

【出願番号】特願 2007-259204 (P2007-259204)

【国際特許分類】

H 0 4 M 3/00 (2006.01)

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 3/00 B

H 0 4 L 12/56 A

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 5 月 11 日 (2009.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インターネットプロトコル (IP) マルチメディアサブシステム (IMS) ネットワーク (350) において、進行中のコールの連続性を管理する方法であって、該方法は、

セッション開始プロトコル (SIP) インバイトメッセージ (312、356) を介して、一つのドメイン内の進行中のコールに関連するコール情報を該 IMS ネットワーク (350) 内に配置されたネットワークノード (308) に提供すること (222) であって、該 SIP インバイトメッセージ (312、356) は、コール連続性のための呼び出しとして動作するように適合されたユニフォームリソース識別子 (URI) を含む、提供すること (222) と、

SIP 応答メッセージ (316、364 / 366) を介して該ネットワークノード (308) から、ルーティング可能な番号を受信することに応答して、該進行中のコールと関連するコールリファレンス番号が有効であることを確認すること (224) と、

該確認 (224) 後に、該 SIP 応答メッセージ (316、364 / 366) の中に識別される利用可能なドメイン情報と一つ以上の利用可能な無線アクセス技術とに基づいて、代替ドメイン内の進行中のコールの連続性を実行するために、該ルーティング可能な番号を用いることにより、該ネットワークノード (308) にコール設定メッセージ (320、368) を送信することと

を包含する、方法。

【請求項 2】

前記代替ドメインは、パケット交換 (PS) ネットワークドメインと回路交換 (CS) ネットワークドメインとのうちの一つを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ルーティング可能な番号は、VCC ドメイン転送番号 (VDN) と IP マルチメディアルーティング番号 (IMRN) とのうちの一つを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 URI は、ユーザ装備デバイス (302) と関連する取り外し可能なストレージモジュールに、ローカルに格納される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 U R I は、ユーザ装備デバイス (3 0 2) 内に集積されたメモリ回路に、ローカルに格納される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 U R I は、前記 I M S ネットワーク (3 5 0) によってユーザ装備デバイス (3 0 2) に動的に割り当てられている、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 U R I は、S I P ヘッダまたは S I P メッセージのボディのうちの一つを提供される、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記 U R I は、ユーザ装備デバイス (3 0 2) と関連するユーザ I D パラメータに基づいて、該 U E デバイス (3 0 2) によって、生成される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

ユーザ装備 (U E) デバイス (3 0 2) であって、

セッション開始プロトコル (S I P) インバイトメッセージ (3 1 2 、 3 5 6) を介して、進行中のコールと関連するコール情報を、インターネットプロトコル (I P) マルチメディアサブシステム (I M S) ネットワーク (3 5 0) 内に配置されたネットワークノード (3 0 8) に提供する (2 2 2) 手段であって、該 S I P インバイトメッセージ (3 1 2 、 3 5 6) は、コール連続性のための呼び出しとして動作するように適合されたユニフォームリソース識別子 (U R I) を含む、提供する (2 2 2) 手段と、

S I P 応答メッセージ (3 1 6 、 3 6 4 / 3 6 6) を介して、該ネットワークノード (3 0 8) から、ルーティング可能な番号を受信したことに応答して動作可能であり、該進行中のコールと関連するコールリファレンス番号が有効であることを確認する (2 2 4) 手段と、

該確認 (2 2 4) に応答して動作可能で、該 S I P 応答メッセージ (3 1 6 、 3 6 4 / 3 6 6) の中に識別されるドメイン情報と一つ以上の利用可能な無線アクセス技術とに基づいて、代替ドメイン内の進行中のコールの連続性を実行するために、該ルーティング可能な番号を用いることにより、該ネットワークノード (3 0 8) にコール設定メッセージ (3 2 0 、 3 6 8) を送信する手段と

を備える、U E デバイス (3 0 2) 。

【請求項 10】

前記代替ドメインは、パケット交換 (P S) ネットワークドメインと回路交換 (C S) ネットワークドメインとのうちの一つを備える、請求項 9 に記載の U E デバイス (3 0 2) 。

【請求項 11】

ネットワークノード (3 0 8) であって、

ユーザ装備 (U E) デバイス (3 0 2) から受信したセッション開始プロトコル (S I P) インバイトメッセージが、リクエスト - ユニフォームリソース識別子 (R - U R I) フィールドを含み、該 R - U R I フィールドが、コール連続性のための呼び出しとして動作するように適合された U R I を含むことを確認する (3 1 3) 手段と、

該 U E デバイス (3 0 2) に提供されるべき S I P 応答メッセージを生成する手段 (3 1 3) であって、該 S I P 応答メッセージは、I P マルチメディアルーティング番号 (I M R N) と、一つ以上の無線アクセス技術と、該 U E デバイス (3 0 2) と動作可能な代替ドメインとのうちの少なくとも一つを含むように動作可能である、生成する手段 (3 1 3) と、

コール連続性を実行することに関して、該 U E デバイス (3 0 2) からのメッセージを介して受信した該 I M R N が依然として有効であることを確認する手段 (3 1 3) と

を備える、ネットワークノード (3 0 8) 。

【請求項 12】

前記代替ドメインは、パケット交換 (P S) ネットワークドメインと回路交換 (C S)

ネットワークドメインとのうちの一つを備える、請求項 1 1 に記載のネットワークノード (3 0 8)。

【請求項 1 3】

前記 U R I は、前記ネットワークノード (3 0 8) と関連するデータベース (1 2 2) に格納されている、請求項 1 1 に記載のネットワークノード (3 0 8)。

【請求項 1 4】

前記代替ドメインは、T e l - U R I フォーマットで前記 S I P 応答メッセージの中に識別される、請求項 1 1 に記載のネットワークノード (3 0 8)。

【請求項 1 5】

前記代替ドメインは、E . 1 6 4 フォーマットで前記 S I P 応答メッセージの中に識別される、請求項 1 1 に記載のネットワークノード (3 0 8)。

【請求項 1 6】

コール連続性を実行する方法であって、

ユーザ装備 (U E) デバイス (3 0 2) から受信したセッション開始プロトコル (S I P) インバイトメッセージが、リクエスト - ユニフォームリソース識別子 (R - U R I) フィールドを含み、該 R - U R I フィールドが、コール連続性のための呼び出しとして動作するように適合された U R I を含むことを確認することと、

該 U E デバイス (3 0 2) に向けた S I P 応答メッセージを生成することであって、該 S I P 応答メッセージは、I P マルチメディアルーティング番号 (I M R N) と、一つ以上の無線アクセス技術と、該 U E デバイス (3 0 2) と動作可能な代替ドメインとのうちの少なくとも一つを含むように動作可能である、ことと、

コール連続性を実行することに関して、該 U E デバイス (3 0 2) からのメッセージを介して受信した該 I M R N が依然として有効であることを確認することと

を包含する、方法。

【請求項 1 7】

前記代替ドメインは、パケット交換 (P S) ネットワークドメインと回路交換 (C S) ネットワークドメインとのうちの一つを備える、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記代替ドメインは、T e l - U R I フォーマットで前記 S I P 応答メッセージの中に識別される、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 1 9】

前記代替ドメインは、E . 1 6 4 フォーマットで前記 S I P 応答メッセージの中に識別される、請求項 1 6 に記載の方法。